

“安心・安全・安定のガス窯を一から作る(株)大築窯炉工業”の

陶芸家と窯屋を結ぶ情報誌

36窯 窯ナビ

ウラ面も情報満載

必ず良いことがある人のために送る！

DAICHIKU のお得意様向けニュースレター

【発行日】2010年11月30日 【発行人】(株)大築窯炉工業 谷口浩司

〒309-1611 茨城県笠間市笠間 2192-5 TEL0296-72-1444 【ホームページ】<http://www.daichiku.jp/>

■小峰窯 小峰 一浩氏 「益子焼をたくさんの子供達に伝えたい」



【小峰一浩さんプロフィール】

1977年 益子町に生れる
1996年 県立真岡高等学校卒業
1998年 西武文理情報短期大学卒業
1999年 栃木県立窯業指導所伝習生終了
1999年 (有)小峰窯に入社
陶芸教室にて轆轤指導



子供たちにも直接やってみせる一浩さん



口く口体験 手びねり体験 絵付け体験

- 秋元：幼い頃の経験や習慣の中で、今のお仕事につながるようなことはありますか？
- 小峰：自宅の隣が仕事場だったのでよく出入りしていました。
職人さんから粘土をもらい遊んでいました。
- 秋元：お仕事で何かひとつ心に残る出来事を上げるとすると、どんな事がありますか？
- 小峰：家業に就いて半年位のころ窯焚き（ガス窯）担当だった叔父が怪我をしました。
当時私は窯焚き経験が無かったのですが、全て任されて焚きました。
入院中の叔父と何十回も電話でやり取りをして、必死で焚きました。
- 秋元：その出来事をきっかけにそれ以前と比べて何か変わったことはありますか？
- 小峰：それから窯焚きを任される様になりました。「習うより慣れろ」とはいいです。
何回も繰り返すことで自信に繋がりましたが、100%の窯焚きは無いのかもしれないね。
- 秋元：お客様からどのような事を言われると嬉しいですか？
- 小峰：陶芸体験のお客様からは「よく焼き上がった」と喜んで頂いたとき。
商品ご購入のお客様からは「使い易くて食卓に良く登場する」と特に料理の作り手から言われた時が嬉しいです。
- 秋元：最近、一番嬉しかった事は何ですか？
- 小峰：5年くらい前から窯修理をしたいと思っていたのですが、今月から実行に移せることです。完成が楽しみです。
- 秋元：ご自身のお好きなお仕事、嫌いなお仕事は？
- 小峰：好きなお仕事は、用心深いところ。窯焚きではガスコックの確認を怠りません。
いつも3回位はしてるかも……(笑)
嫌いなお仕事は、自分が気になった事は気が済むまで人にしつこく聞いてしまう所です。
- 秋元：今の目標、来年やりたいことは？
- 小峰：今の目標は楽しい陶芸体験やおもしろい見学などで、益子焼をたくさんの子供達に伝えて行くことです。
来年の目標は、今の仕事をしながら自分の作品も作りたいです。
- 秋元：大築窯炉の窯を選んだ理由は何ですか？
- 小峰：ガス窯に満足していたので電気窯も安心して頼めました。
- 秋元：大築窯炉のイメージは？
- 小峰：何でも知っていて驚きます。分からないことは何でも教えてくれるので、いつも助かります。きっとたくさん窯作りを手掛け、やきもの屋さんとも多く関わり、成功や失敗を間近で見てきたからなのでしょうね。。。

●敬称は略させていただきました

取材担当：秋元智香



うれしい！楽しい！大好き！ダイチク！メッセージ！

■子供の頃、楽しかった思い出は大人になってからも鮮明に覚えているものです。子供たちが成長して仕事や趣味を考えた時、「やきものづくりは楽しかったなあ」と思い出してもらえただけでも、一浩さんの思いは伝わったと思います。

(有)小峰窯

〒321-4217 栃木県芳賀郡益子町益子 3169-1

TEL0285-72-6311(代表)

FAX0285-72-3211

<http://www.komine-gama.com/>

■ユーザーさんの個展情報■

高部としゑ作陶展

2010年11月20日(土)～12月9日(木)
つかもと作家館ギャラリー
電話：TEL.0285 (72) 3223



進作：彫板器

修二作：氷城文香炉・一輪

色とりどりの女性作家3人展

岡真理子・我妻なおり・門脇美加江
2010年12月11日(土)～12月26日(日)
笠間焼 かつら陶芸 BAGUS 2F
平日 10:00～18:00/土日祝平日 9:00～18:00

いまからはじめる陶芸入門出版記念

現代と伝統のコラボレーション
柳橋 進・柳橋修二 作陶展
2010年11月25日(木)～12月1日(水)
京成百貨店 6Fアートギャラリー1



■映画『ゴースト もういちど抱きしめたい』茨城県窯業指導所が撮影協力

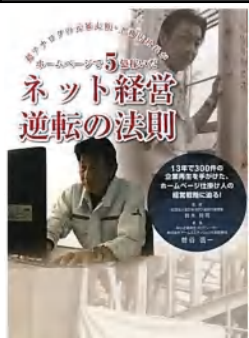
■日本とは逆回転のロクロのシーンで有名なあの映画「ゴースト ニューヨークの幻」がリメイクされ、11/13(土)より全国ロードショーされています。内容はまったく新しい設定で、陶芸に関する描写もリアル。韓流スター、ソン・スンホンと松島奈々子による演技や個性的なキャストिंगも魅力。(茨城県工業技術センターニュース 11月号より)
どんな場面が指導所の協力をかを探してみるのも関係者の楽

しみでもあります。さらに、公式携帯サイトでは劇中シーンがよみがえるフFLASH待受けを配信中とのこと。
配給：パラマウント ピクチャーズ ジャパン、松竹株式会社



公式ホームページより⇒

■弊社ホームページの制作担当・菅谷信一氏が著書を出版！



■タイトルは『ネット経営 逆転の法則』～超アナログの元暴走族の工務店社長がホームページで5億稼いだ～ 「元暴走族の工務店社長が5億稼いだ!？」これからネットで稼ぎたい人、既に実績を持っている人も皆さん読んでみたくありませんか! この書籍では、菅谷さんの象徴的な制作事例である茨城県のある工務店のアナログ経営者との二

人三脚での取り組みの結果、5億円の受注を達成した舞台裏のストーリーと、そこに隠れた10の具体的なノウハウ、構築術が書かれているそうです。

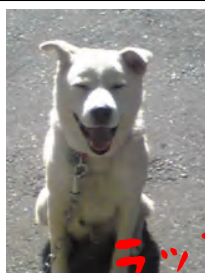
以下は菅谷氏の数ある制作実績の代表的なものです。

- ・ノーベル賞を輩出した国家研究機関のプロジェクト
- ・あの超有名なボクシング世界チャンピオン
- ・一部上場企業のスーパーマーケット ほか

■大築窯炉の新しい仲間 「たいすけ&はな」

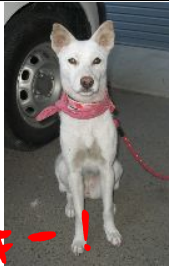
■犬の「たいすけ」と「はな」が当社にやってきました。長年飼っていた2匹の犬が猛暑のために残念ながら他界。防犯と癒やのため、社内からの強い要望があり八方手を尽くした結果、たいすけがその任務に当たることになりました。

たいすけは訳あって里親探しをすることになった買主から譲り受けました。オスの



自家製ステンレスプレート

成犬ですが性格は温厚。ところが郵便屋さんには異常なまでに興味を示し、クンクン擦り寄る始末。これはなぜ? 協議の結



果、前買主宅にも郵便屋さんが来て、だいぶ可愛がられていたのではないかとということに。大好きな郵便屋さんはこちらにも来るが、人が違う? と気がつくまでにどれくらいかかるだろうか。

■次に「はな」彼女は次の日です、当社に飛び込んできました。「ダーっ」と一目散に来て、そのまま飼い犬に。迷い犬は縁起が良い、という理由だけでOK! になりました。動物好きの銚田(ヤマちゃん)はお昼休みを返上で犬小屋を作ったり、ネームプレートをステンレス板で作ったりしてくれました。う〜む、白い犬が二匹も来るなんて、いい事があるにチガイナイ!

■編集後記「あとかんげん」■

■それは6月日曜日、案の定、雨。富田さんの工房には20人ほどの見学者。中には遠路東京から足を運んでくれた人もいました。自分の技術や思いを話しながらないから、急須つくり講座を頼んでも少し心配でした。普段は工房の奥のほうでロクロを引いています。しかし、その日は見やすいところに移動して、しかも窓をはずし、簡単な雨よけも作り、庭に椅子、お茶まで用意してありました。前もって作ってあった胴、手、口、フタという四つのパーツの付け方を、見えやすいように角度を変えたり、半分に切ってみたり、質問にも快く答えてくれました。富田さんは、修行時代、父とならんでロクロをひいていた人物です。親父はいつも言っていました、「どうしてかっちゃんはあるにうまいんだ!」と。人を誉めることが不得意だった親父でしたが、富田さんのロクロの技術にはかなわない、といつも話していました。とにかく何をやらせてもうまい、しかも早い、とさえ言っていたほどです。やきものをつくるのが大好きで、何かに出品して賞をとることより、「良い」と言って使ってくれる人が一人でも増えること、それがやりがいだったのだと感じています。

9月28日、富田和夫さん、享年68歳。今また親父と一緒にロクロをひいています。